

日光二荒山神社 しん きょう 神橋

聖地日光の表玄関を飾るにふさわしい朱塗りに映える美しい神橋は「御橋」「山菅の蛇橋」などと呼ばれ、日光二荒山神社の建造物で国の重要文化財に指定され、平成11年12月には世界遺産に登録されました。

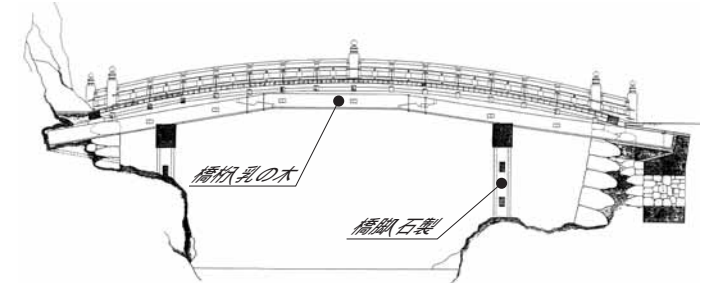


平成9年から8年間にわたり行われていた改修工事は、総工費約8億円を投じて実施され、平成17年3月に竣功致しました。

神橋は山間の峡谷に用いられた「はね橋」形式としては我国唯一の古橋であり、日本三大奇橋（錦帯橋・猿橋）の一つに数えられ、「乳の木」と呼ばれる大材の端部を川岸の岩盤に埋め込み、橋桁とするその特殊な構造が特徴です。



今回の特別公開では橋梁の下部構造を期間を限定して公開致します。その構造が文化財として価値の高いことをご理解いただけると幸いです。世界遺産登録後、初公開の神橋を渡し、特設観覧台からの眺めをどうぞこの機会にご見学下さい。



期間及び見学時間

- 期 間 平成17年4月20日から約1年間
(特設観覧台より下部構造を見学できる期間)
- 見学時間 4月～9月 午前8時～午後5時
10月～11月中旬 午前8時～午後4時
11月中旬～3月 午前9時～午後4時

料 金

個人・団体	大人	高校生	小中学生
個人	500円	300円	200円
団体	450円	200円	100円

団体：35名以上



下野国一之宮

日光二荒山神社

NIKKO FUTARASAN-JINJA

本社：日光市山内2307 TEL.0288-54-0535
中宮祠：日光市中宮祠2484 TEL.0288-55-0017



朱塗りの世界遺産

神橋

平成18年春まで

特別公開中

渡橋及び特設観覧台より下部構造を特別公開致します